

花ごよみ 9月

2026年
8月25日
283号

発行：(公財)東京動物園協会 井の頭自然文化園

お月見と植物とウサギと

中国の神話では、月には巨大なキンモクセイがあり、ウサギが杵と臼で不老不死の薬を作っているといわれています。日本の月見は、平安時代に中国より伝わったとされています。中国では月餅を供えて月見をしますが、日本では団子を供え、ススキやハギなどを飾り月見をします。



ニホンノウサギ



キンモクセイ



ハギ



ススキ

ヒガンバナのひみつ

田んぼのあぜ道に、ヒガンバナを見かけたことはありますか？

ヒガンバナの球根には「リコリン」という有毒成分が含まれていて、イノシシやモグラなど地面を掘る動物が嫌がるため、獣害対策として植えられてきたようです。



ヒガンバナ



シロバナマンジュシャゲ

秋の訪れを告げる動物舎の植物

大きな穂が特徴的なマール舎のパンパスグラスが、見頃を迎えます。マールの故郷アルゼンチンの草原地帯の植物です。ヤマネコ舎前では対馬に自生するダンギクが咲き始め、「リスの小径」出口前のオニグルミの実が大きく目立ってきます。



パンパスグラス



ダンギク



オニグルミ

秋空の下に咲く山野草



ユウガギク



シュウカイドウ



キキョウ



「花ごよみ」の
バックナンバーは
こちら→

